

No.46 2010, Apr.

4 月・天地金乃神大祭号

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

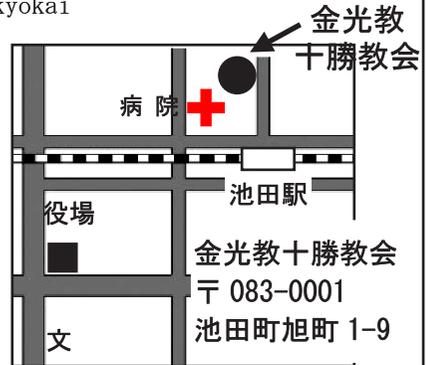


☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213

十勝教会



だより 46



平成二十二年 天地金乃神大祭を迎えて
十勝教会創立九十年を迎えて ②

天地金乃神と申すことは、天地の間に氏子おっっておかげを知らず、神仏の宮神社、氏子の家宅、みな金神の地所、そのわけ知らず、方角日柄ばかり見て無礼いたし、前々の巡り合わせて難を受け。氏子、信心いたしておかげ受け。今般、天地乃神より生神金光大神差し向け、願う氏子におかげを授け、理解申して聴かせ、末々まで繁盛いたすこと、氏子ありての神、神ありての氏子、上下立つようにいたし候。

(明治六年十月十日、「金光大神御覚書」より)

この文は一般に「明治六年の御神伝」と呼ばれる、天地金乃

神様から教祖様へ伝えられたお知らせを教祖自身が書き残したものです。



写真 - 昭和 5 年・創立 10 年記念祭時の旧教会

未だ朝晩には氷点下になることありますが、日中は暖かく、境内の雪もほぼ消え、ようやく十勝も本格的な春を迎えようとしています。この四月十八日、十勝教会も恒例の天地金神大祭を仕えます。また本年は、十勝教会創立九十年の記念の年にあたり、十一月七日には記念大祭を仕えさせていただきます。○

十勝教会の設立が認可された大正九年（一九二〇年）という年は、前年に第一次世界大戦が終結、この年、国際連盟が成立し新しい国際秩序を求めた動きが始まった年であり、日本国内に目を向けてみると、戦後恐慌が始まり、経済が混乱していた時代です。

十勝教会の初代教会長・玉置藤太先生が金光教に入信したのはそれよりも七年ほど前の大正二年のことです。それは、初代先生の家族が次々と重い病気に罹り、医薬に頼って治療をしていましたが、一向によくならず、しょうがなしに近隣におられた新谷かよさんの勧めで神様をお願いしたと

ころ、病気が平癒したことによります。それまでは神仏に祈って物事を為すということには否定的であった初代先生ですが、その先生が、結果的に仕事をも辞め金光教の教師にまでなつて御取次に専念されるようになったのは、いったいどうゆうことだったのでしょうか。○

一つには、初代先生を教導された札幌国光教会の渡辺丑五郎先生うしろごろう、困っている人を助けねばならないという新谷かよ両氏の信心と御神徳によることは間違いありません。そしてもう一つは、家族の病気が平癒したときに初代先生が感じた「森羅万象は何ものかが上にあつてこれを掌握しているに違いない」という「人間の目には見ることできない天地のお働き」への気付きと得心があつたからに他ありません。この初代先生が感じた人目には見えないお働きこそが天地金乃神様のおはたらきそのものです。○

私たちは目に見えない様々な働きに支えられ、

生かされています。しかし、なかなかその働きに気付くことはありません。先の「御神伝」にある「天地の間におつておかげを知らず」ということがまさにそのことであり、「方角日柄ばかり見て」と続くように、人間（自分）の都合だけで判断して行動することが結局私たちが抱える様々な難儀の原因の一つであると天地金乃神様はおっしゃっています。ですからこの目に見えない様々な働きに気付くということが金光教の信心の大事なポイントの一つになります。教祖生神金光大神様は自らの家族の死をはじめ、様々な苦難を通してこの事実気付かれ、天地金乃神様に出会われました。

また、初代先生も同様に家族の病気や生活苦を通してようやく目には見えない天地金乃神様のお働きに出会われました。そして教祖様、初代先生をはじめとした先人たちは、後に残る私たちのために、自らと同じような大変な目を体験することなく天地金乃神様のお働きに気付くように「信心」を遺してくださっています。教会創立の節年にあたり、今一度教祖様や初代先生たちの信心をいた

金光教十勝教会創立 90 年記念祭

日 時 平成 22 年 11 月 7 日 (日) 11 時 祭典執行
 祭典会場 教会
 記念教話 奈良県十津川教会 原田豊久先生
 「神様霊様の生きたお働き」
 終了後、直会宴を行います。
 祝宴会場 池田町社会福祉センター

創立 90 年記念祭奉迎委員会

委員長 信徒会長
 副委員長 教会役員
 顧問 教会長
 幹事 信徒会会計、書籍担当、在籍教師

だきなおし、なぜ信心を伝えてくださったのかを考え直し、天地金神様のお働きの中で生かされていることを実感させていただきたいと願います。

平成 22 年 4 月

教会 日誌 平成22年2月11日から4月11日まで

2月11日 信徒総会・教会新年会。

教会創立90年記念祭奉迎委員会発足。



写真 - 信徒総会・新年回 -

恒例の信徒総会が開催され、総会行事に併せて秋に行われる記念祭の奉迎委員会が発足しました。総会の後はこちらも恒例の新年会が行われました。



2月14日 余市町、I家、式年霊祭。

2月24日 幕別町、K家、年頭感謝祭・式年霊祭。

3月2日 北四教区青年教師協議会、札幌市、みよ子先生出席。3日まで。

3月6日 佐呂間町、T家、式年霊祭。

3月13日 足寄町、K家、葬儀式。4日まで。

3月21日 春季霊祭。

3月21日 足寄町、K家、旬日祭。

3月22日 芽室町、M家、二柱霊神式年霊祭。

3月22日 道東地区教会連合会総会・研修会、北見教会。研修会提言・衛先生、2名参加。

3月27日 札幌市、O家、式年霊祭。

3月28日 士幌町、S家、交通安全祈願祭。

写真―春季霊祭
この春の霊祭には新たに二柱の霊神様が合祀されました。祭典の後は、みなでお下がりのぼた餅を頂きました。





写真上 - 勸学祭

写真下 - 薫別講社生神金光大神大祭



3月31日 足寄町、K家、旬日祭。

4月1日 勸学祭。

4月5日 薫別講社・天地金乃神大祭。

4月10日 足寄町、K家、旬日祭。

4月11日 大祭前大掃除、御用打ち合わせ。



写真一 大祭前大掃除



道東地区各教会・関係教会 大祭日程

	春	秋	
・釧路教会	5月30日(日)	10月24日(日)	11時
・北見教会	5月2日(日)	11月3日(祝)	11時
・帯広教会	4月25日(日)	11月14日(日)	11時
・網走教会	5月23日(日)	10月31日(日)	11時
・滝上教会	6月6日(日)	10月10日(日)	
・夕張教会	4月29日(祝)	11月3日(祝)	11時
・函館教会	5月13日(木)	11月13日(土)	13時

十勝教会これからの祭典行事日程

・上半期感謝祭	6月27日(日)	午後1時30分
・布教功労者報徳祭	8月16日(月)	午後1時30分
・秋季霊祭	9月23日(木・祝)	午後1時30分
・教会創立90年記念大祭	11月7日(日)	午前11時
・越年感謝祭	12月31日(金)	午後1時30分
・境内清掃①	6月6日(日)	午前10時
・境内清掃②・公園ゴミ拾い	7月18日(日)	午前10時
・秋大祭前大掃除・打ち合わせ	10月31日(日)	午前10時
・創立90年記念祭奉迎委員会	随時	

道東地区教会連合会・北海道教区 行事日程 (関係分)

- ・第10回道東地区教会連合会交流パークゴルフ大会
日時 7月2日(金) 午後2時
会場 網走市 レイクサイドパーク・のとり
終了後、会場を移動して懇親会の予定。
- ・道東地区「あいよかけよの集い」誰でも参加できる信心研修会です。
日時 7月3日(土) 午前9時
会場 網走教会
パークゴルフ大会の翌日に行われます(一泊二日で参加できます)。
- ・道東地区青年家族交流会
日時 8月28日(土) 14時～29日(日) 12時
会場 網走教会、レイクサイドパークのとり
内容 青年向け金光教クイズと潮干狩り(能取湖)
- ・少年少女キャンプ「みどりのひろば」
日時 8月6日(金)～8日(日)
会場 美瑛町・白金野営場

♪ 神 人 の 栄 光 ♪

一、 天地は神のふところ
 人はみな神のいとし子
 かぎりなき神徳のなかに
 生かされるわれ等うれしき

二、 人の世にとわの光を
 いとし子につきぬみかげを
 誓わしし教祖の神に
 救われるわれ等うれしき

矢代千春先生

講師 金光教北見教会会長

講話

御神伝奉読・講師紹介

- 吉備舞奉納 四季の気色・春
- 舞人 玉置る みさん
- 玉置さくらさん

次 祭員退下

次 拜 礼

次 神人の栄光斉唱

次 神徳賛詞奉唱

次 参拝者代表玉串奉奠

次 天地書附奉体

次 祭主玉串奉奠

次 祭主祭詞奏上

次 取次唱詞奉唱

次 神前拝詞奉唱

次 拜 礼

先 祭員着席

天地金乃神大祭祭典次第

あいよかけよの生活運動

わが心の神に目ざめ

祈り、対話、行動をもって

神を現す生活をすすめ

共に助かる世界を生みだそう

願 い



KONKOKYO
金光教

食 前 訓

食物はみな人の命のために
 天地乃神のつくり
 与え給うものぞ

何を食うにも飲むにも
 ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓

体の丈夫を願え

体をつくれ

何事も体が元なり

金光教十勝教会